



BUN・KATSU

は はじめよう、 文化財の活用

毎回異なる国登録有形文化財などを会場に、ワークショップや建物見学、まち歩きなどを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通して文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。



令和5年度
文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



旧中西家住宅 (吹田吉志部文人墨客迎賓館) 国登録有形文化財 (江戸時代後期建築)

江戸時代の学者廣瀬旭莊が「其宅華麗殆類侯居(華麗で諸侯が住まう家のような)」と讃えた旧中西家住宅は、文化財を吹田市のために役立てたいという中西家の御厚志により、平成19年(2007)に吹田市に寄贈される。約1,000坪の屋敷地には江戸時代後期の大庄屋の屋敷構えを今日に伝える文政9年(1826)建築の主屋や長屋門などが建ち、吹田市指定有形文化財に指定され、国登録有形文化財に登録されている。庭園は作庭の位置や造園の技法に特色があり、国登録記念物に登録され、四季折々の美しさが目を楽ませしてくれる。

2024
1/21 (日)

— 大庄屋屋敷 × 煎茶と文人の文化 —
集って交わす「煎茶」のたのしみ

旧中西家住宅 (吹田吉志部文人墨客迎賓館)

吹田市岸部中4丁目13番21号

【定員】 24名 (2グループ班分け)

【参加費】 1500円

【集合】 13:15 (開始 13:30)

JR京都線岸辺駅改札前

・庭などを傷めるのでヒール等はご遠慮ください
・和室では必ず靴下をご着用ください

— 当日のスケジュール —

13:15 JR 京都線岸辺駅改札前集合
受付開始

13:30 まち歩きと
所有者のお話

14:15 ワークショップ (煎茶道)
と建物見学

16:30 終了

中西家ゆかりの様々な美術作品を愛でながら、ここに行き交う人たちがかつて嗜んだ「煎茶」を深く楽しく味わいます。



【講師】一茶庵宗家嫡承 佃梓 央

1985年生まれ。煎茶家。関西大学非常勤講師。慶應義塾大学文学部卒。父である佃一輝に師事。2018年よりさまざまな芸術作品のデジタル画像を使う茶会「超茶会」を美術館などでスタートさせるなど、煎茶の新しいスタイルを模索。G20大阪サミット2019では「配偶者プログラム」1日目に茶事を担当。



..... まち歩き予定ルート※当日変更する場合があります

お申込み方法：下記まで、お早めにご予約ください。お申込みが定員に達しましたら、申込受付を終了いたします。

申込方法：[FAX] または [Googleフォーム] にてお申込みください

■ FAX
06-6943-7103

■ Googleフォーム
<https://forms.gle/wFVNXA7jhkxf3J3bA>



FAX用申込書

2024/1/21(日) 旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館) 集まって交わす「煎茶」の楽しみ

氏名 _____ 同伴者名 _____

ご住所 ご自宅 勤務先・学校 _____

〒 _____

E-mail / _____ TEL / _____ FAX / _____

開催についての注意事項

- * 申込受付は先着順。事務局からの受付完了メールまたはFAXが届いた時点で申込み確定とさせていただきます。
- * 参加費は当日現金にてお支払いください。(釣銭のいらないようにご協力お願いします)
- * 資材及び会場設営の都合上、ご連絡なしでのキャンセルは参加費1500円を申し受けますのでご了承ください。
- * ご記入頂いた情報は厳重に管理し上記以外の目的には用いません。

【お問い合わせ先】公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 電話番号：06-6947-1961

担当者：隅原 (E-mail: heritage@aba-osakafu.or.jp) 開催当日専用番号：080-3863-1961